



トップインタビュー

建設に、新しい流れを。

三興バルブホールディングス株式会社
代表取締役社長 ながさき ひろや 長崎 洋也 氏

聞き手 帝国データバンク 福岡支店 調査1部 副部長 江原 健一郎

文：情報部 秋山 進

福岡市博多区に本社を置く三興バルブホールディングス株式会社。配管資材商社として確固たる地位を築いてきた同社がいま、大きな変革の時を迎えている。建設業界が直面する「人手不足」「長時間労働」「高齢化」という深刻な課題に対し、資材供給にとどまらない独自の支援モデル「+αF（アルファフィットシステム）」を提唱。2019年のホールディングス化を経て、技術と商社機能を融合させた「現場課題解決型企业」へと進化を遂げている。「建設に、新しい流れを。」という新ビジョンを掲げる同社の戦略と、その根幹にある人材への想いについて、長崎社長に話を伺った。

——2019年にホールディングス体制へ移行されました

従来の配管資材販売というビジネスモデルは、長年多くのお客様に支えられて成長してきました。しかし、建設業界を取り巻く環境は激変しています。人手不足や働き方改革への対応など、現場の課題は年々複雑化しており、単にモノを届けるだけではお客様の困りごとを根本から解決できない局面が増えてきました。

そこで、販売機能に加えて設計・加工・施工支援といった周辺領域を強化し、グループとしての総合力を高めるためにホールディングス化を決断しました。各社に社長を置くことで意思決定を迅速化し、専門性を高める。これは単なる組織再編ではなく、「現場課題を解決する企業へ進化するための第一歩」でした。

また、新しいグループビジョンとして「建設に、新しい流れを。」を掲げました。これは私一人が決めたのではなく、従業員（社員）で構成される

チーム主導で議論を重ねて作り上げたものです。あわせて「挑戦」「プロ意識」「共創」という価値観を浸透させ、社員全員が同じ方向を向いて行動できる軸を整えています。

——独自モデル「+αF（アルファフィットシステム）」が業界で注目を集めています

独自モデルである「+αF（アルファフィットシステム）」は、現場調査から図面作成、加工、配送、そして納品に至るまでの一連の工程を一気通貫で支援する画期的な仕組みです。このシステムの最大の特徴は、単に全工程を請け負うことではなく、お客様が直面している特定の不足工程を「プラスアルファ」で柔軟に補うという提供形態にあります。

具体的な施策の柱として、まずは3D空間スキャン技術によるデジタルトランスフォーメーションが挙げられます。この導入により、従来は多大な人手と時間を要していた現場調査の時間を



社員の皆さん

約90%削減し、設計や施工における手戻りを防ぐことで工程全体の劇的な時短を実現しました。また、現場での配管作業を工場での事前組み立てへとシフトさせる「ユニット化・モジュール化」を推進しており、これにより品質の均一化とトータルコストの低減を同時に叶えています。当社は、3万点を超える圧倒的な在庫を持つ商社機能に、こうした設計・加工という「技術」をコアコンピタンスとして掛け合わせることで、他社には真似できない独自の価値を提供しています。

——育成制度「社内アカデミー」についてお聞かせください

次世代の経営を担う人材を社員から輩出したいという強い思いから、当社では段階的な教育と挑戦の機会を提供する「社内アカデミー」を構築しています。これは単なる研修の場ではなく、価値観の浸透と社員の自律的な成長を促すための重要な経営基盤です。

その具体的な象徴が、入社2年目から応募可能な「ボスチャレンジ」制度です。若手社員が自らプロジェクトを立ち上げ、1年間かけて成果を出すことに挑戦するこの仕組みは、早い段階から責任ある役割を経験させるためのものです。また、各社の若手管理職や候補者が毎月福岡に集結する「ジュニアボード」では、グループ全体の課題を把

握し、経営陣に対して直接提言を行うことで、高い視座での経営感覚を養っています。さらに、配属後も同期の横のつながりを強化する「フレッシュャーズキャンプ」を実施するなど、多角的なサポート体制を整えています。人材育成は時間のかかる投資ではありますが、社員が個々の能力と個性を最大限に発揮できる環境こそが、最終的には顧客満足や企業価値の向上につながり、持続可能な成長を支えると確信しています。

——今後の展望と、目指すべき企業像を教えてください

建設業界は社会インフラを支える重要産業ですが、労働環境の課題は山積みです。私たちは「+αF（アルファフィットシステム）」を全国展開できる体制を整え、より多くの現場の生産性向上に貢献したいと考えています。現在、グループ全体で356名、売上高は約220億円という規模まで成長しました。しかし、重要なのは規模の拡大そのものではなく、グループ各社が連携して生み出す「価値の増大」です。福岡・九州という地域において、積極的に提案（アタック）できる企業でありたい。そして社員一人ひとりが能力を最大限に発揮し、「三興バルブグループで働いていて良かった」と思える会社にすること。その結果として、地域の方々や社会から必要とされる存在へ成長していけると信じています。

——ありがとうございました

長崎洋也 氏 プロフィール

1970年生まれ。福岡県出身。98年、三興バルブ継手株式会社に入社。2018年、三興バルブ継手代表取締役、19年、三興バルブホールディングス株式会社・代表取締役社長。現在に至る。

企業概要

三興バルブホールディングス株式会社

(TDB企業コード：800032973)

(法人番号：4290001013316)

資本金：4500万円

事業内容：三興バルブ継手株式会社などグループの持株会社